

令和 6 年度
自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人佐山学園
アジア動物看護理学療法専門学校

[1]教育理念・目標

適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1

評価項目	自己評価	学校関係者 評価
学校の理念・教育の目的・育成人材像は定められているか	4	4
学校における職業教育の特色は明確になっているか	4	4
学校の理念・教育の目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか。	4	4

(自己評価)

建学の精神に基づき教育理念を定め、全国ペット協会等の関連業界・団体のニーズを反映させた育成人材像と教育目標を明確にして教育に取り組んでいる。

学校の理念や育成人材像等は、入学式等の学校行事や学生・保護者向け資料を通して在校生や保護者に周知しており、学校案内やホームページにより受験生や保護者等に周知している。

(課題と今後の改善方策)

関連業界・協会のニーズを反映させた育成人材像と教育目標の見直しを、継続して行う必要がある。

(学校関係者評価)

求められる人物像に合った卒業生の輩出に、今後も期待したい。

(特記事項)

なし

[2]学校運営

適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1

評価項目	自己評価	学校関係者 評価
教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	4
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	4
学校運営に関する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	4	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか	4	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	4
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	4

(自己評価)

教育目標を達成するために、運営方針に沿った事業計画の策定と予算編成を行い教育活動に取り組んでおり、「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に沿って事業報告書や教育活動等に関して情報公開している。

また、人事等も含めた運営組織や意思決定機能、コンプライアンスに関する規定等を整備して学校を運営している。

(課題と今後の改善方策)

健全な学校運営を行うために、規定・マニュアル、組織等を定期的に見直す必要がある。

(学校関係者評価)

必要に応じてマイナーチェンジを行うなど、時代の流れに合った対応をお願いしたい。

(特記事項)

なし

[3]教育活動

適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1

評価項目	自己評価	自己評価
教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	4
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	4
教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの編成や見直し等が行われているか	4	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	4
講義および実習に関するシラバスは作成されているか	4	4
学生アンケート等で、適切に授業評価を実施しているか	3	3
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	4
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	4
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	4
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	4
関連分野における業界等との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するマネジメントは行われているか	4	4
関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか	4	4

(自己評価)

関連業界・協会等と連携して到達目標に沿って実習中心の教育課程を体系的に編成し、資格取得の指導体制を整備して教育活動に取り組んでいる。また、外部関係者の評価を教育課程の編成に反映させており、教員研修制度を充実させて質の高い教育を提供している。

(課題と今後の改善方策)

常に教育課程と学修成果を検証するだけでなく、卒後アンケート、就職先からの評価も取り入れ、より良いものを提供したい。

(学校関係者評価)

卒業生を招き、OB、OGの声を直接聞ける機会が増えると、学生の動機づけにも繋がると考える。今後の運営に活かしていただきたい。

(特記事項)

なし

[4]学修成果

適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1

評価項目	自己評価	学校関係者 評価
就職率の向上が図られているか	4	4
資格取得率の向上が図られているか	4	4
退学率の低減が図られているか	4	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3	3

(自己評価)

充実した就職支援プログラムと個別サポート、資格取得支援体制の整備により就職率・資格取得率とも高い実績となった。また、学び始めてからコースを選択できる教育課程と少人数教育により退学率の低減に取り組んでいる。

また、就職先企業等への訪問により卒業生の評価を把握しているが、より多くの卒業生の評価を把握して教育活動の改善に結び付ける必要がある。

(課題と今後の改善方策)

就職率と資格取得率の向上と退学率の低減のために、質の高い教育の提供と支援体制を強化すると同時に、修学支援制度(給付型奨学金・授業料減免)の周知及び個別でのフォローを行っていく。

(学校関係者評価)

学生・家庭別の対応は安心できる取り組みの一つなので、今後も期待したい。

(特記事項)

なし

[5]学生支援

適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1

評価項目	自己評価	学校関係者 評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4
学生相談に関する支援体制は整備されているか	3	3
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4	4
保護者と適切に連携しているか	4	4
卒業生への支援体制はあるか	3	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	4

(自己評価)

必要に応じて三者面談を実施する等、保護者と連携して学生を支援する体制を取っているが、社会人に対しての更なる教育環境の整備のほか、卒業生に対する卒業後教育を強化する必要がある。

(課題と今後の改善方策)

学生や卒業生、社会人に対する支援体制の整備に取り組んでいく。

(学校関係者評価)

卒業生が相談できる窓口を広げることも大切だと考える。同窓会を行うなど、新たな取り組みを検討してはどうか。

(特記事項)

なし

[6]教育環境

適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1

評価項目	自己評価	学校関係者 評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4	4
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	4
防災に対する体制は整備されているか	4	4
学校施設・設備等が定期的に管理・点検されているか	4	4
実習室等の学校施設・設備の利用割り当てが明確になっているか	4	4
インターンシップについて、依頼先と十分なコミュニケーションを取り、その内容、評価法等を事前に決めているか	4	4
海外研修制度はあるか。またその際の学生への指示、教育は十分に実施しているか	3	3

(自己評価)

施設・設備は専修学校設置基準を満たしており、教育上十分な環境を整備しているが、一部の老朽化に対応する必要がある、既に手配をしている。防災に関しては、マニュアルを整備して毎年避難訓練を実施している。

インターンシップは、受入先に実習内容や評価方法等を事前に打ち合わせてから実施している。

(課題と今後の改善方策)

学校施設・設備の維持管理に関する規定やマニュアルの充実を図る。

(学校関係者評価)

社会情勢に鑑みる必要はあるが、学生の視野を広げるために、海外研修を充実できると良いと感じる。

(特記事項)

なし

[7]学生の受入れ

適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1

価項目	自己評価	学校関係者 評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	4
学納金は妥当か	4	4

(自己評価)

学生募集活動に関しては、学校案内・募集要項・ホームページや高校訪問・オープンキャンパス・ガイダンス等を通して、求める学生像を明確にして教育課程の特色や学修成果等を正確に伝えている。また、学納金に関しては、近隣の動物系専修学校と比較して妥当な金額になっており、募集要項に必要な費用を記載している。

(課題と今後の改善方策)

今後も教育力を高めて、教育課程の特色や学修成果等を伝えることによって、適正な学生募集活動に取り組んでいく。

(学校関係者評価)

県内の生徒だけではなく、県外の生徒へのPRを強化してはどうか。本校の特色の発信に期待したい。

(特記事項)

なし

[8]財務

適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1

評価項目	自己評価	学校関係者 評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4	4

(自己評価)

財政基盤は安定しており、予算管理や会計監査は適正に行なわれ、決算情報もホームページ上に公開している。

(課題と今後の改善方策)

今後も適正な予算管理や会計監査を行い、財務情報を公開して財政基盤を安定させる。

(学校関係者評価)

今後も適切な情報公開をお願いしたい。

(特記事項)

なし

[9]法令等の遵守

適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1

評価項目	自己評価	学校関係者 評価
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	4
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3	3
自己評価結果を公開しているか	4	4

（自己評価）

法令と専修学校設置基準等を遵守し適切な学校運営を行っており、個人情報も規定を整備し保護に努めている。また、自己評価についてはホームページ上に公開しているが、内部監査体制を強化する必要がある。

（課題と今後の改善方策）

自己評価における内部監査体制の整備と内部監査員の更なるスキルアップに取り組む。学校関係者評価も含めて、PDCA サイクルを機能させなければいけない。

（学校関係者評価）

今後も適切な運営に期待したい。

（特記事項）

なし

[10]社会貢献・地域貢献

適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1

評価項目	自己評価	学校関係者 評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	4
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	4

(自己評価)

市と連携した定期的な学生ボランティア活動に取り組むほか、学校近隣の清掃活動を行うことで地域への貢献を目指している。

(課題と今後の改善方策)

今後も学校として社会貢献や地域貢献を支援する体制を維持する。

(学校関係者評価)

ボランティアに関心が高い学生は多いので、今後もボランティアに参加できる機会を増やしていただきたい。

(特記事項)

なし